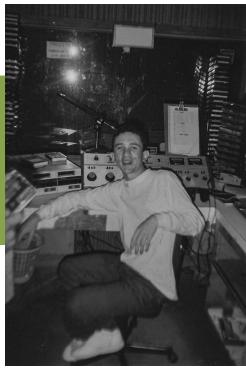


PROGRAM NOTE

2019年8月



中学生から始めたBCL人生 JONAS SANTOS

Reachbeyond オーストラリア局 Media Manager



Como vai? (こんにちはお元気ですか) 私は生まれも、育ちも南米のブラジルです。父親がアンテナ付きのパンソニックの短波受信機を持っていたので、私はそれを自由にいじっているうちにラジオの魅力にとりつかれました。中学生の時にはダイヤ

ルを回しながらいろいろな局を探して DXing に夢中でした。中でも楽しんでいたのが、夕方になると北から飛んでくるエクアドルからの HCJB 局でした。遠く離れていてもシグナルも強く、雑音もなく、何よりも局名のアナウンスが魅力的でした。“こちらは「アンデスの声」です。南米大陸の赤道直下、常春の国エクアドルの首都キトからおとどけしています”というアナウンスは、今でも私の脳裏にはっきりと刻み込まれています。



高校を終えると、地方の FM 局でアナウンサーとして働きながらブラジルの大学でジャーナリズムを専攻し、卒業後もテレビ局やラジオ局から声がかかって、さまざまな番組を担当してきました。ある時、仕事でメルボルンに出かけた時に、HCJB がオーストラリア 大陸からもアジア全土に向かって短波放送をしていることを知りました。全くの驚きでしたが、それ以上に、今は私がその局のメディア・マネジャーを務めることになろうとは全く予想もできないことでした。それにしても、子供の頃からラジオに親しみ、聞いていたその放送局で自分が働くことができるこになろうとは！ こんな嬉しいことはありません。ここまで導いてくださったる神様に感謝しています。オーストラリア局での現在の私の責任は放送全般の管理です。放送スケジュールをはじめ番組提供団体との連携、放送設備の保全修理、番組聴取者の意識調査などをまとめる重要な役割です。

今年6月。日本を訪問することができ、東京都心の淀橋教会で開かれた「関東地区リスナーの集い」に同席させていただき、オーストラリアからの「短波放送」を聞いておられる皆様方と直接お会いすることができたのは大きな収穫でした。リスナーとしてただ番組に耳を澄ませておられるだけではなく、お互い同士が親しい交わりのうちに真摯な生き方を求めておられることに感動させられたからです。ラジオがその役割の一端を担っていることがよくわかりました。ブラジルには各地に日本人移住地があるせいか、日本に来ると自分の祖国へ帰ったような親しみが湧いてきます。二年前もメディアの国際会議で訪日しましたが、今回は渋谷のジャンボ交差点、新宿の繁華街、横浜の歩行者天国にも足を伸ばし、夢の新幹線にも乗って京都見学にも出かけました。どこへ行こうとも私を飽きさせることはできないようです。それは日本が私の第二の故郷だからでしょう。

HCJB 日本語放送の55年間の働きを通して、多くのかけがえのない心の友が結びつけられていることをはっきりと確認させていただきました。神様からの恵みと祝福がさらに皆様の上に豊かに注がれるようにとオーストラリアから引き続きお祈りしています。



サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 每週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 每週日曜日放送			
8月03日	「関東地区リスナーの集い」in 東京 (3)	8月04日	聖書遊覧バス	旧約聖書	詩編の旅路
8月10日	「東北地区リスナーの集い」in 仙台 (1)	8月11日	聖書遊覧バス	旧約聖書	詩編の旅路
8月17日	「東北地区リスナーの集い」in 仙台 (2)	8月18日	リスナーからの「お便り交換の時間」		
8月24日	「中・四国リスナーの集い」in 岡山 (1)	8月25日	聖書遊覧バス	旧約聖書	詩編の旅路

放送後の番組は、ホームページ(<http://reachbeyond.jp>) のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3 形式)

放送時間：日本時間 午前 7 時半~8 時 15410kHz (再放送) 午後 8 時 ~8 時 30 分 15565kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)

